

# 施設関係者評価実施報告書

令和6年3月31日

報告者氏名 岩橋法彦

評価者氏名 平山 猛、諫山和男

## ①全体評価

今年度より縦割り保育を導入し、思いやる気持ちや憧れる気持ちなどが育つ取り組みを行った。その結果保育者が関わらなくても子ども同士で問題解決をしたり、助け合う姿が多く見られていた。保育の計画も幅広い視点からも達成されていると思われる

## ②学校評価の個別評価

### 全体の計画や指導

必要な計画は準備されているが、計画の内容が書き込む量が多いため、今の時代に見合った計画の様式の見直しも必要になるのではないか

### 保健管理

保健部を中心に教室やおもちゃ類等の衛生管理、園児・職員の健康管理を行うことができていた

### 安全管理

大型遊具の、メンテナンスを行うなど、遊具の安全確認はとりわけ行われていた。毎月目的を持った交通安全教室、避難訓練が実施されている

### 特別支援教育

一人一人の園児の発達や育ちに合わせた環境を設定し、安心感のなかで過ごせるよう園児に働きかけている

### 組織運営

運営部を中心に保育が行われており、各リーダーのリーダーシップも発揮されている

### 研修(資質向上の取組)

園内研修、公開保育、zoomによる外部研修など個人個人の資質の向上と園全体の底上げになる研修がおこなわれている

### 教育目標・学校評価

各年齢度においての保育目標が設定され全職員が毎月10項目ほどの自己評価を行い、スモールステップの振り返りを繰り返し行っている。

### 情報提供

毎月のおたよりやブログ、デイリー、SNSなどを利用し園の情報を発信されている

### 保護者・地域住民との連携

挨拶を交わすことを心掛け安心感がある雰囲気を作ることを意識しており、町内の回覧板を利用し、園内の情報をお知らせしている

### 子育て支援

6月より毎月第4週の木曜日に園庭開放を実施

### 預かり保育

保護者の実情により幼稚園の預かり、一般の預かりを実施している

### 教育環境整備

教育・保育が有効に実施されるよう机の配置や備品整備に気をつけられている

## ③その他必要な評価

### 給食の衛生管理

出来ている

### アレルギー児への対応

医師の指導の下給食の提供を行った

## ④課題と検討

コロナが第5類になり、保育の制限が緩和され、いろいろな行事が対面で行うことができた。人と人の関りの大切さに気づいた1年となった。声を控えてきた3年間で急に基のような保育にはもどらず新たな保育を生み出していく必要があると感じている。公開保育では外部講師より助言を頂き保育の内容を深められた。